

議事要旨

会議名	令和 7 年度第 1 回芦屋中央病院評価委員会			会場	芦屋町役場 4 階 4 4 会議室	
日 時	令和 7 年 7 月 1 1 日（金） 午後 2 時 0 0 分～午後 3 時 4 0 分					
件名・議題	1. 議題 （1）令和 6 事業年度における業務実績報告（法人の自己評価）について 2. その他 （1）評価の仕方 （2）今後の開催予定					
委員等の出欠	委 員 長	村松 圭司	出	オブザーバー （病院）	櫻井 俊弘	出
	副委員長	貞安 孝夫	出	オブザーバー （病院）	森田 幸次	出
	委 員	中野 徹	出	オブザーバー （病院）	竹井 安子	出
	委 員	松山 みどり	出	オブザーバー （病院）	檜田 房男	出
	委 員	吉野 任	出	オブザーバー （病院）	市村 修	出
	委 員	萩原 洋子	出	オブザーバー （病院）	中野 悟子	出
	事 務 局	溝上 竜平	出	オブザーバー （病院）	坂本 林太郎	出
	事 務 局	福井 幸太	出			
	事 務 局	松浦 裕二	出			
合意・決定事項	・ 芦屋中央病院から業務実績報告書の報告を受け、質疑を行い、「業務実績に対する評価及びの意見」を期日までに提出することとなった。 ・ 次回の委員会日程及び評価の提出期限を伝えた。 ・ 芦屋町国民健康保険運営協議会会長の変更に伴い、委員が本田浩委員から萩原洋子委員に変更となった（令和 7 年 6 月 1 1 日から任用開始）					

○議題（１）業務実績報告書（法人の自己評価）について

・病院より令和６事業年度における業務実績報告書について説明。（区切って説明）

（委員長） 病院から説明のあったＰ１「１．芦屋中央病院の概要」からＰ３「２．全体的な状況」までについて質疑があればどうぞ。

（委員） 期中に常勤医師が２名減となっているが、診療には影響はないのか。

（病院） 非常勤医師を雇用しているため、診療に影響はないが病院収益に影響があるので、増員について速やかに対応したいと考えている。

（委員長） 他に質疑がなければ、続けて説明をお願いします。

．．．．病院説明．．．．

（委員長） 病院から説明のあったＰ４「（１）地域医療への貢献」からＰ１１「（４）救急医療への取組み」までについて質疑があればどうぞ。

（委員） 口腔ケアの誤嚥性肺炎についてどのような対策を行っているのか。

（病院） 歯科衛生士や歯科医師が病棟を巡回しており、誤嚥性肺炎を繰り返している患者さんにはどの程度口腔ケアが必要かどうかの確認を行い、必要に応じて治療を行っている。ただし、誤嚥性肺炎の発生件数が減少しているかどうかは不明である。

（病院） 誤嚥性肺炎の発生件数を数値目標とすることは難しいが、口腔ケアを行うことで誤嚥性肺炎を予防できると考えているので、引き続き実施していきたい。

（委員） 訪問診療について、特定の医師に負担がかかっているのではないかと懸念しているが、現在の医師の配置と将来的にどのような規模で行うかを教えていただきたい。

（病院） 特定の医師に負担がかかっているわけではないという認識である。内科系のドクター全員で対応するというものとしてるが、外来で診察している医師がその患者の訪問診療に行くということはある。

(委員長) 訪問看護の件数が計画を736件下回ったとあるが、患者からの需要があるが訪問看護師の人員不足により対応できなかったのか、それとも需要が無くて計画を下回っているのかどちらなのか。

(病 院) 令和5年度と比較して看取りの患者さんが少なくなったというのと、訪問看護師の人員不足により数件断ったこともあった。

(委員長) 需要があるのであれば人員確保に努めていただきたい。

(委員長) 他に質疑がなければ、続けて説明をお願いします。

・・・・病院説明・・・・

(委員長) 病院から説明のあったP13「(5) 災害及び新興感染症に対する医療協力」からP16「(7) 地域包括システムへの貢献」までについて質疑があればどうぞ。

(委 員) 新興感染症対策として、BCPの策定、避難訓練の実施、備蓄物品の管理等をしっかりとされており非常に素晴らしいと思う。Ⅳの評価で良いと思う。

(委員長) 意見として受け賜わる。その他質疑はないか。

(委 員) 企業健診数が年々増えてきているが、病院としてどのような取り組みをしているのか。町内外どのような範囲で声掛け等を実施しているのか。

(病 院) 地域を狭く特定しているわけではなく、保健師が熱心に訪問をしてくれており、企業に対して健診を芦屋中央病院で受診してもらうよう依頼している。また、口コミ等の評判を聞いて申し込みしてくれる企業もある。

(委員長) 他に質疑がなければ、続けて説明をお願いします。

・・・・病院説明・・・・

(委員長) 病院から説明のあったP18「(1) 医療安全の徹底」からP23「(4) 第三者評価機関による評価」までについて質疑があればどうぞ。

(委 員) インシデント報告において、令和6年度大きな事故は起きていないとのことだったが、インシデントの報告数は1,255件となっている。インシデントは重要度により5段階あり、レベル3以上がアクシデントとなる。内容について医療従事者にフィードバックし、どのように医療安全に繋がっているのかを記載してもらったほうが評価しやすい。

(病 院) インシデント報告については、3a以上のインシデントについては医療安全委員会で報告し、重大事故に繋がりそうな内容については対応策を検討している。また、医療安全委員会において、院内の感染状況について共有している。

(委員長) インシデントの発生件数について、段階により発生件数を記載したほうが良いのではないかという意見が以前から評価委員会に出ており、中期計画見直しの際には検討していただけたらと思う。

(病 院) 検討させていただく。

(委員長) 他に質疑がなければ、続けて説明をお願いします。

・・・病院説明・・・

(委員長) 病院から説明のあったP24「(1)患者サービスの医療の提供」からP31「4法令遵守と情報公開」までについて質疑があればどうぞ。

(委 員) 患者満足度調査について、調査手法を教えてください。

(病 院) 外来に関しては、月～金曜日の間に調査票を1,300件程配付して、回答があったのが600～700件程であった。入院に関しては、2カ月間実施して、退院の際に回答をいただいております、件数は200件程度だったと思う。

(委 員) 総合相談窓口件数について、計画を下回っているとのことだが、件数だけで評価しても良いのか。相談者の満足度等により評価しても良いのではないか。

(病 院) 7,500件以上の件数があるため、一つひとつ満足度を確認することは難しい。そのため、件数で評価するのはやむを得ないと考えており、今後については7,000を超える件数を目標に実施していきたい。

(委 員) 個人情報の管理について、職員に対して研修を実施しているのか。

(病 院) 数年前から全職員に対して研修を実施している。現地で参加できない職員においてはオンライン研修を受講してもらっている。

(委 員) 患者満足度調査の点数の付け方や結果のフィードバックを職員に行っているのか教えてほしい。

(病 院) 点数については項目ごとに付けてもらっているが、ここに記載している点数は総合評価の点数を記載している。調査の中で自由記載の欄を設けており、内容については運営会議や実務者会議等や回覧を通じて職員で共有している。

また、自由記載で Wi-Fi 設置の要望が多く挙がっていたので、今年度設置することを予定している。

(委 員) 総合相談窓口の内容についてのフィードバックは職員に行っているのか。

(病 院) 職員に対する苦情などは担当部署と共有し、対応を検討している。

(委 員) 件数を評価の指標にしているが、計画値が高いため評価がⅢより上がるのが難しいのではないかと。評価基準について今後検討してほしい。

(委員長) 他に質疑がなければ、続けて説明をお願いします。

．．．．病院説明．．．．

(委員長) 病院から説明のあった P 3 2「1 法人運営管理体制の確立」から P 3 9「(5) 研修制度の推進」までについて質疑があればどうぞ。

(委 員) 病院としてハラスメント対策はどのように行っているのか。

(病 院) 職員アンケートを行っているが、対策については今後進めていく予定である。

(委 員) 若手職員の会議を行っているとのことだが、良い意見などが出るものがあるのか。

(病 院) 病院の経営に資するような意見が出ることはないが、ディスカッションを行

うこと事態が重要であると考えており、良い取り組みだと思っている。

(委員長) 他に質疑がなければ、続けて説明をお願いします。

・・・・病院説明・・・・

(委員長) 病院から説明のあった P 4 1 「(1) 健全な経営の維持」から P 4 5 「(3) 支出の削減」までについて質疑があればどうぞ。

(委 員) 常勤医師について令和 6 年度計画が 2 1 名で実績が 1 7 名となっている。2 名退職したとのことだったが、計画値と実績値の詳細について教えてほしい。

(病 院) 2 名が家庭の事情で退職した事と 2 名を新卒で採用する予定だったが、入らなかった。そのため、計画値よりも実績値が 4 名少なくなっている。

(委 員) 常勤医師の確保ができないと、収益に関わってくると思うので、退職することを想定しつつ採用計画をたてていくことが重要だと思う。

(病 院) 委員の言われるとおりで、医師の確保については最重要課題であるという認識をしており、芦屋中央病院の適正な医師の人数は 2 5 名と考えている。医師の確保については大学等と連携して増やしていくことを想定している。不足する常勤医師の代わりに非常勤の医師を雇用しているが、コストパフォーマンスは常勤医師よりも悪いため、常勤の医師の確保は経営面においても重要だと考えている。

(委 員) 外来診療単価や入院単価が昨年度より減った理由は何か。

(病 院) 外来診療単価については、リハビリ患者が増えたことによるためであり、リハビリに関しては単価が安い。入院単価については、令和 6 年度より売り上げが発生した月に割り当てるという会計処理を変えたためであり、実際の単価としては令和 5 年度と 6 年度において大きな差はない。

(病 院) 補足で説明すると、経常利益は 9 千 1 百万円と令和 5 年度より半減する結果となったが、これは診療報酬の改定やコロナ過以降の受診控え等によるものである。自治体病院では 8 割 5 分から 9 割が赤字で、私立病院においても赤字の病院の割合が増えているため、黒字という点は評価してよいのではないか

と思う。

(委 員) 評価して良いと思う。今後は施設の老朽化に伴う施設整備等にもお金がかかってくると思うので、その辺りを留意していただけたらと思う。

(委員長) 他に質疑はないか。

・・・「質疑なし。」・・・

(委員長) では、委員は、本日の質疑を踏まえて評価をしていただきたい。評価の方法や今後のスケジュールについては、今から事務局から説明する。

○その他

・評価の方法及び次回以降の開催日程について説明

(委員長) 何か意見や質問がある方はどうぞ。

・・・「質疑、意見なし。」・・・

(委員長) それでは、以上で本日の委員会は終了する。

(閉 会)